くんねっぷアート・タウン・プロジェクト

彫刻作品「くわ・くわ・くわ」と各事業の様子は、訓子府町公民館ロビーで展示中（連絡先 47-2121）

今年のくんねっぷの夏は、アートで熱くなりました。多くの町民の皆さまにご参加・ご鑑賞いただきありがとうございました。一部を写真でご紹介いたします。

主催：訓子府町・訓子府町教育委員会
共催：公益財団法人北海道文化財団
後援：北海道

HOKKAIDO ARTS FOUNDATION 公益財団法人 北海道文化財団

キッズ・アート・プログラム　8月11日、12日　町レクリエーション公園　104人

　ロードアート（チョークで駐車場の路面に大きな絵を描く）と和風ミニランタンづくりを親子で実施しました。 身体を使った遊びを通し、子どもたちの自由な発想と豊かな感性を育むとともに、美術への関心を引き出すことができました。今回は昨年移設した水本修二氏の彫刻「関係空間」の前で実施し、子どものころからふるさとの自然や文化に触れることにより、郷土愛を育むことができました。 協力：子育てサークルOHANA

彫刻体験ワークショップ
8月12日　町公民館　30人

　彫刻作品公開制作で来町していた武蔵野美術大学彫刻学科助手の山本麻璃絵さんの指導で、訓子府小学校のハルニレの倒木の枝を丸、三角、四角に切った材料でアート作品を作りました。出来上がった時の笑顔が最高でした。

対話型作品鑑賞会（町民向け）8月19日　町公民館　32人

　武蔵野美術大学の学生が作品をもちこみ、町民と対話しながら作品の鑑賞を行いました。本物の作品を鑑賞し、自由に発言したり作者の考えを聞いたりすることを通して美術の多様な価値感や考え方に出会い、感性が広がりました。

彫刻作品公開制作　8月8日～26日　町公民館裏庭　作品名「くわ・くわ・くわ」　作者：山本麻璃絵さん　訓子府町公民館ロビーで展示中

　昨年の平成28年8月17日、台風で訓子府小学校のシンボルだった「ハルニレ」の木が倒れてしまいました。その「ハルニレ」が1年後に彫刻作品として生まれ変わりました。制作者は武蔵野美術大学彫刻学科助手の山本麻璃絵さん。訓子府の開拓時に使われた「鍬」と町の特産品の「とうもろこし」「メロン」「たまねぎ」を組み合わせて、121年の訓子府町の歴史を彫刻にしていただきました。

対話型作品鑑賞会（中学生向け）8月21日　訓中　88人

　武蔵野美術大学の学生が作品をもちこみ、美術の授業として中学１・２年生が対話しながら作品の鑑賞を行いました。面白い発言に新たな発見がおこり、美術の多様な価値感や考え方に出会い、感性が広がりました。

武蔵野美術大学「旅するムサビ」黒板ジャック　平成 29年8月20日制作、8月21日公開（訓小・居小については8月21日～23日まで一般公開）。北海道初で、武蔵野美術大学の学生9人が子どもたちに内緒で黒板にチョークだけで描いた絵を見て「なにこれ！どうやって描いたの？」と驚きの連続でした。７時間ほどかけて描いた作品は授業が始まる前に消されましたが、驚きとともに美術への関心が引き出されました。

訓子府中学校　１年Ａ組　作者：武蔵野美術大学１年　石川瑞紀 さん

訓子府中学校　１年Ｂ組　作者：武蔵野美術大学２年　鈴木果穂 さん

訓子府中学校　２年Ａ組　作者：武蔵野美術大学１年　神　いくみ さん

訓子府中学校　１年Ｂ組　作者：武蔵野美術大学２年　三尾　響 さん

訓子府中学校　３年Ａ組　作者：武蔵野美術大学２年　林　子琦 さん

訓子府中学校　３年Ｂ組　作者：武蔵野美術大学１年　江田さくら さん

訓子府小学校　図工室　作者：武蔵野美術大学２年　山中らら さん

居武士小学校　チャレンジ１教室　作者：武蔵野美術大学２年　松尾実侑 さん・１年　西山沙希 さん